

ドイツの児童文学作家クラウス・コルドン講演会
Vortrag von deutscher Jugend Schriftsteller Herr Klaus Kordon

「わたしの物語作法―「古き」ベルリンの若者たちの今」

Wie ich Geschichte erzähle: Jugendliche von heute im „alten“ Berlin

平成 26 年 11 月 29 日（土）13 時～16 時
国立国会図書館国際子ども図書館 3 階ホール

プ ロ グ ラ ム Programm

13:00 開会挨拶 Begrüßung

国際子ども図書館長 佐藤 毅彦
（司会：国際子ども図書館企画協力課長 原田 圭子）

13:05 講師対談 Gespräch

講師：クラウス・コルドン 氏（ドイツ児童文学作家）
酒寄 進一 氏（ドイツ文学者、翻訳家、和光大学表現学部教授）
通訳：マライ・メントライン 氏（ドイツ語講師、翻訳家）

13:45 小休憩 Kurze Pause

13:50 講演 Vortrag

「わたしの物語作法―「古き」ベルリンの若者たちの今」
Wie ich Geschichte erzähle: Jugendliche von heute im „alten“ Berlin
講師：クラウス・コルドン 氏
通訳：酒寄 進一 氏

15:20 休憩 Pause ～ 質問票によりご質問を受け付けます。～
～ Bitte geben Sie die Karte mit Ihrer Frage ab ～

15:30 質疑応答 Fragen und Antworten

通訳：マライ・メントライン 氏

16:00 閉会 Ende der Veranstaltung

講師紹介

クラウス・コルドン (Klaus KORDON) 氏

【略歴】

ドイツの児童文学作家。

1943年 ベルリン、プレントラウアーベルク生まれ。東独に育つ。父は戦死し、母親の手で育てられた。

1956年、母親とも死別し、孤児となり、児童福祉施設等で育つ。様々な仕事に従事した後、高校を卒業、市民大学で経済を学び、貿易商となる。この頃から執筆を始め、インド、インドネシア、北アフリカに赴いた経験は彼の後の作品にも生かされている。

1972年、ブルガリアを経由して西側への亡命を試みるが失敗し、ホーエンシェーンハウゼン収容所（ベルリン）に約1年間勾留される。1973年、西ドイツの政治犯解放政策により釈放され、西ドイツ国民となる。

1977年、*Tadaki*を発表し、以後、作家として活動を開始する。1980年、『モンスーンあるいは白いトラ』発表。

代表作には、3月革命から第二次世界大戦終結後までのベルリンを、労働者一家の子どもたちの視点から描いた、ベルリン3部作（『ベルリン1919』（1984）、『ベルリン1933』（1990）、『ベルリン1945』（1993）酒寄進一訳）がある。

2002年、自伝的小説 *Krokodil im Nacken*（「うなじにクロコダイル」2002。未邦訳。）を発表。

国際ペンクラブドイツPENセンター及びドイツ児童文学アカデミーメンバー。ドイツ児童文学賞、銀の石筆賞等、国内外の文学賞受賞多数。2013年、ドイツ連邦共和国功労勲章大功労十字賞受賞。

【Die roten Matrosen oder ein vergessener Winter】

『ベルリン1919』（理論社 酒寄進一訳）

昨日までデモをしていた人たちはいったいどこへいったのだろうか？

ヘレの質問に父さんはなかなか答えなかった。

「そうだな、世の中には三種類の人間がいるんだ。ひとつはおもしろければそれでいいという連中だ。彼らはいっしょに行進し、いざとなれば人を殺しもする。だがそういう連中は少数だ。ふたつ目のグループはもうすこし数が多い。つまり、なにが起こっているか理解しない連中さ。殺人者の本性を見抜かず、喝采を送る人たちだ。だがこのグループも、数はそんなに多くない。一番数が多いのは第三のグループだ。いわゆるイエスマンだよ。なにが起こっているかちゃんとわかっているのに、我が身大事で、口をつぐむ連中だ。この連中が一番やっかいなんだ」

(P. 587)

酒寄 進一（さかより しんいち）氏

ドイツ文学者、翻訳家、和光大学表現学部教授。

1958 年生まれ。『くまおとこ グリムどうわより』（フェリクス・ホフマン画 福武書店 1984）以来、数多くのドイツ語の児童書、一般書を翻訳。「ベルリン」3部作のほかに『砂漠の宝ーあるいはサイドの物語』（シクリト・ホイク著 福武書店 1990）、『ネシャン・サーガ』全3巻（ラルフ・イーザウ著 あすなろ書房 2000、2001）、『過去への扉をあける』（ハンス＝ユルゲン・ペライ著 童話館出版 2013）等の読み応えのある児童書の翻訳がある。

また、最近では、フォルカー・クッチャーの 1930 年前後のベルリンを舞台にした警察小説『濡れた魚』『死者の声なき声』『ゴールドスティン』（東京創元社 2012、2013、2014）、シリア出身のドイツ文学者ラフィク・シャミによる『愛の裏側は闇』全3巻（東京創元社 2014）などの翻訳がある。

（通訳）マライ・メントライン (Marei Mentlein) 氏

ドイツ語講師、翻訳・通訳者。ゲーテ・インスティテュート・東京図書館アシスタント。

2004 年から 2005 年まで文部科学省奨学生として早稲田大学に留学。

2008 年、ライン・フリードリヒ・ヴィルヘルム大学ボン（日本学）卒業。その後、日本在住。

NHK 語学番組「テレビでドイツ語」、「まいにちドイツ語」に出演し、テキスト中のエッセイの執筆、VTR の翻訳なども手掛ける。

また、駐日ドイツ大使館運営サイト「Young Germany ドイツ発 ライフスタイルガイド」（<http://young-germany.jp/category/pickup/>）でも、ドイツ・ミステリーの紹介コラム「マライ・de・ミステリ」を連載している。

名言集

才能は関心を持つことと同義である。 (ベルトルト・ブレヒト)

人が年代記を書くのは、その人にとって現在が重要だからだ。 (ゲーテ)

記憶は真実だ。(中略) 記憶は選択し、削除し、改変し、誇張し、矮小化し、美化し、侮蔑する。……そして記憶は最後に自分なりの現実を作りだす。 (サルマン・ラシュディ)

歴史的出来事を描けば、みな文学になるのです。私は現実に肉薄することしかできません。 (ヘルマン・ヘッセ)

真実を探している者を信じよ、真実を見つけたという者は疑え。 (アンドレ・ジッド)

新しい左官屋が何度もやってきては壁を塗り替える。
いつも違う色だ。
しかし壁はいつも同じ。
(エーリヒ・ケストナー)

世界を変える唯一の手段は、世界を説明することだ。 (リオン・フォイヒトヴァンガー)

夢を見る力のない奴に生きる力はない。 (エルンスト・トラー)

過去から引き継ぐなら灰がいい。灰はごめんだ。 (ジャン・ジョレス)

物語と、物語に対抗する物語を語りたい。
(ギュンター・グラス)

本当の物語と、偽りの物語に対抗する物語を語りたい。

(クラウス・コルドン)

クラウド・コルドン 氏 邦訳著作紹介

書名	著者名	出版事項	当館請求記号
歴 史 小 説			
ベルリン 1945	クラウド・コルドン 作 酒寄進一 訳	理論社 2007. 2	943-コル
ベルリン 1919	クラウド・コルドン 作 酒寄進一 訳.	理論社 2006. 2	943-コル
ベルリン 1933	クラウド・コルドン 作 酒寄進一 訳	理論社 2001. 2	943-コル-高
第 三 世 界 の 物 語			
モンスーンあるいは白いトラ	クラウド・コルドン 作 大川温子 訳	理論社 1999. 7	943-コル-高
現 代 ド イ ツ の 物 語			
人食い : クラウド・コルドン短編集	クラウド・コルドン 原作 松沢あさか 訳 いよりあきこ 絵	さ・え・ら書房 2002. 1	Y9-N02-24
一方通行	クラウド・コルドン 作 松沢あさか 訳 いよりあきこ 絵	さ・え・ら書房 2001. 4	Y9-N01-71
潮風にふかれて : ジルケはじめての航海	クラウド・コルドン 作 いそざき康彦 訳 ユッタ・パウアー 絵	さ・え・ら書房 1989. 4	Y8-6279
ひみつのおくりもの	クラウド・コルドン 作 虎頭恵美子 訳 ましませつこ 絵	さ・え・ら書房 1988. 4	Y8-5294
ロビンソンの島、ひみつの島	クラウド・コルドン 作 本田雅也 訳 ダグマール・ガイスラー 挿絵	徳間書店 2001. 7	Y9-N01-148
小さな村の大きな郵便事件	クラウド・コルドン 作 虎頭恵美子 訳 マルギット・パウル 画	大日本図書 1996. 9 (ジュニア・ライブラリー)	Y9-3012
小さい人と大きい人ととても 大きい人のゆかいなおはなし	クラウド・コルドン ぶん ささきたづこ やく マリー・ジョゼ・サクレ え	ペンタン 1991. 6	Y18-6735
ビンのなかの手紙	クラウド・コルドン 作 高柳英子 訳 デトレフ・ケルステン 絵	佑学社 1989. 6	Y8-7386
伝 記			
ケストナー : ナチスに抵抗し続けた作家	クラウド・コルドン 著 那須田淳, 木本栄 訳.	偕成社 1999. 12	Y3-N00-3